

保険者国保事業紹介



京都府衣料国民健康保険組合



衣料国保は、府内の和・洋装衣料品関連業 30 団体傘下の組合員とその家族を対象に国保事業を実施しています。

現在、被保険者数は約 2 千人強の小規模保険者として国保運営は大変厳しい状況ですが、被保険者の健康増進や将来的な医療費適正化と健全な事業運営に資するよう、月並みですが健診事業を中心に以下のような取り組みをしています。

■特定健診受診率は 70% を達成

平成 27 年度の特定健診受診率は 70% を上回り第 2 期目標は達成し、受診の必要性も被保険者にほぼ定着したようです。今後は 5 年以上の長期未受診者に受診勧奨を実施し、現状を維持することを目標としています。

一方、特定保健指導は、本年 7 月から保健師を月 2 日雇用し、指導対象者に電話等で勧奨して受診率向上に取り組んでいます。

■がん検診受診率は 50% 目指す

厚生労働省では毎年 10 月にがん検診受診率向上の集中キャンペーンを実施しています。組合では以前よりがん検診の重要性を認識し、年間を通じ人間ドックに数種類の腫瘍マーカーの追加と、自宅で検体を採取して検査機関に送るだけで手軽にできるがん検診を実施しています。現在の受診率は約 30% 弱です。50% 以上を目指して努力しているところです。

■「毎年健診を受けま賞」にポイント

組合が実施する健診事業にインセンティブ制度を導入し、積極的に受診されて健康づくりに努力された被保険者に「毎年健診を受けま賞」として、無料で歯科健診が受けられる等のヘルスケアポイント（1 ポイント千円）を贈呈し、特定健診等の受診率の向上を目指しています。

本年度は、前年度受診者 879 人に 914 ポイントを贈呈し、歯科健診・体温計等医療グッズ・ギフト券に利用されました。

健診年度推移

健診種別	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年
特定健診受診率	62.7%	62.2%	51.8%	69.4%	70.4%
(特定保健指導受診率)	(11.6%)	(9.9%)	(16.0%)	(7.1%)	(9.7%)
人間ドック等受診者 (含、脳ドック、肺ドック)	333 人	307 人	252 人	307 人	307 人
がん自己検診	517 件	479 件	433 件	281 件	434 件

注 1 人間ドック腫瘍マーカー

男 PSA+腫瘍マーカー 4 種 (SCC・AFP・CEA・CA19-9) 追加

女 CA125、CA15-3+腫瘍マーカー 4 種 (") 追加

2 がん自己検診項目 胃、腸、肺、子宮、前立腺、B・C型肝炎、受検延件数



■「8月1日」は「肺の日」



毎年8月1日を「肺の日」と読み替え肺がん予防日とし、組合事務所前にヘリカルCT搭載車=写真左=を借り上げて肺がん検査と医師による肺がんの予防教室を開催して

います。

この事業は今年度で15年目を迎えました。この間、3人に肺がんが発見されましたが、幸いにも早期発見で大事に至らず家族から大変感謝されました。



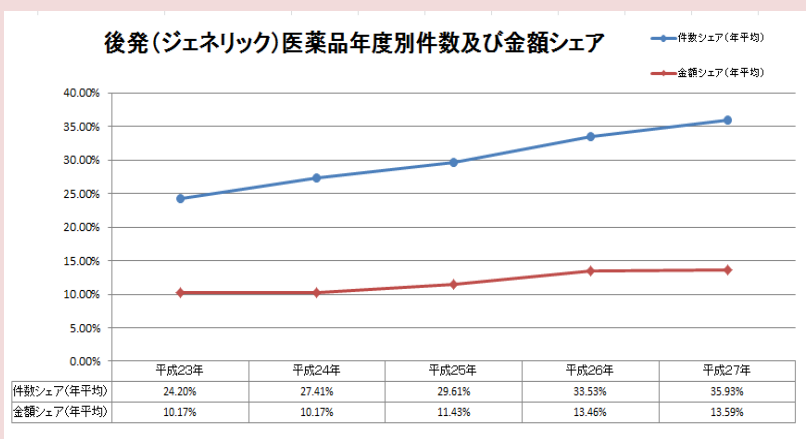
組合の会議室で開かれた肺がん予防教室

■ジェネリック医薬品の使用促進

ジェネリック使用促進(差額)通知は、平成23年度から業者に委託して差額が月間百円以上の被保険者に実施して、患者負担の軽減と医療費の適正化に協力をお願いします。

調剤医療費は、昨年から高額薬剤の影響から

急騰しています。現在のジェネリック医薬品の普及率は国の目標と大きく乖離していますが、年々わずかずつですが増加しています。継続して取り組み、さらなる使用の促進に努力します。



■幸村ゆかりの地で湯ったり散策



スタートの慈尊院を参拝する被保険者

毎年9月に日ごろの運動不足の解消と心身のリフレッシュに軽いウォーキング(約4キロ)と湯泉入湯を組み合わせた健康教室「湯ったり散策」を実施しています。

今年は16年目で、大河ドラマ「真田丸」の舞台となった和歌山県九度山町(慈尊院から真田庵まで散策と橋本温泉・ゆの里で入湯)で実施し、バス6台で210名が参加しました。